

市民病院の経営

病院改革プランの実効性、 どのように高める？



前川 勉 議員

答

全職員が課題を共有して取り組む



▲健康づくりの拠点に！大勢の方で賑わう市民病院まつりの様子

平成25年グラウンドオーブンの市民病院が、地域の中核病院として良質な医療を提供するという使命を果たしてほしいと願いました。

問 病院改革プランの実効性を高めることについて

答 病院事業管理者

毎月の院内所属長会議で病院の活動実態を病院改革プラン目標数値と各月数値の対比を示して分析する

他、病床利用率や一人当たり診療収益等についても、全国の病院等の数値と比較分析しています。

今後は紹介率・逆紹介率、給与費・材料費・薬品費の対業収益比率等に加えて、医師一人一日当たり患者数・診療収入等を経営指標に用いたいと考えます。

また、2年後の包括的診療報酬支払い方式（DPC）導入に向けての取り組みで得られる診療データを活用して、他の病院等との比較検証等、市民病院としての強みや弱点をしっかりと分析、把握して今後の経営改善につなげていきたいと考えます。

経営状況および当面する課題等を全職員が共通認識し、病院改革に向けて一丸となって取り組んでいきます。

問 病院モニター制度や付属看護学校の設置について

答 病院事業管理者

地域包括ケアシステムの中核病院として、今まで以上に病診連携、病病連携を図り信頼される質の高い急性期医療の提供に努めていきます。

現在、意見箱を設置して患者様や病院来訪者から多くのご意見をお聞きしており、病院モニター制度については今後研究させていたできます。

付属の看護学校の設置については、看護師の確保が当面安定していること、また学校を設置する場合は多くの費用を要すること等から、学校の必要性は低いと考えています。

用語解説

● 包括的診療報酬支払い方式：

入院期間中に治療した病気の中で最も医療資源を投入した疾患に対し、1日当たりの定額部分（入院基本料等）と、出来高部分（手術やリハビリ等）を組み合わせて計算する方式。

● 地域包括ケアシステム：

可能な限り住み慣れた地域で暮らせるよう、地域が包括的な医療や介護のサービスを提供する体制。

その他の質問

● 市内イベントの運営